

防火材料認定番号	品名目
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

水性特殊変性シリコン樹脂皮脂軟化対策塗料

# エスケースマートシリコンW

エスケースマートシリコンWは皮脂軟化に対する抵抗性、紫外線や水分等の劣化要因に対しても優れた抵抗性を示す水性特殊変性シリコン樹脂塗料です。水性さび止め塗料エスケースマートボーセイWと組み合わせることで、外部の鉄部などにも使用できる優れた防食性を発揮するとともに、水性ミラクシーラーエコ（ホワイト）との組み合わせにより、内壁面にもご使用いただけます。

## 環境対応

### 特長①

水性であるため、低臭かつ火災等の危険がほとんどない安全な塗料設計です。また、鉛やクロムなどの有害な物質を含有しません。

## 作業性・仕上がり性

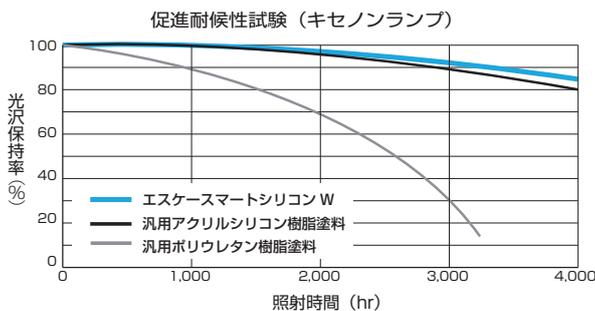
### 特長②

独自のレオロジーコントロール技術により、塗り易く、レベリング性に優れ、平滑な塗膜を形成します。

## 耐候性

### 特長③

アクリルシリコン樹脂の塗膜は、紫外線や水分等による劣化に対して抵抗性があり、優れた耐候性を示します。



## 耐皮脂軟化性

### 特長④

扉や手すりなどは人の手の接触などにより皮脂が塗膜に浸透することで、徐々に軟化し、黒ずみ、剥離を生じることがあります。

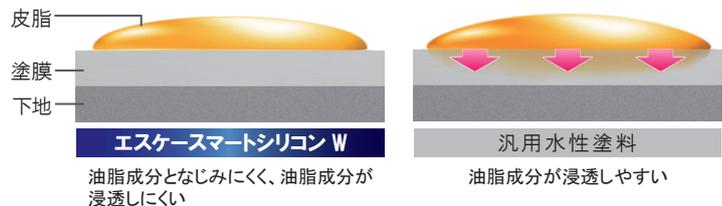
エスケースマートシリコンWは架橋密度が高く、油脂成分となじみにくい塗膜を形成し、汎用水性塗料と比べ優れた耐皮脂軟化性を示します。

【耐皮脂軟化性評価】 <疑似皮脂液スポット後、スクラッチを行った>



エスケースマートシリコン W

汎用水性塗料



## ■用途

・建築内外部鉄部・木部・内壁面

## ■適用下地

・金属下地、各種ボード、木質下地  
・各種旧塗膜

## ■荷姿

エスケースマートシリコン W（艶有り、半艶、3分艶）・・・ 15 kg石油缶（標準塗坪：57～93㎡/缶）  
4 kg缶（標準塗坪：15～25㎡/缶）

エスケースマートボーセイ W …………… 16 kg石油缶（標準塗坪：106～123㎡/缶）  
4 kg缶（標準塗坪：26～30㎡/缶）

水性ミラクシーラーエコ（ホワイト）…………… 15 kg石油缶（標準塗坪：50～150㎡/缶）

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

# 標準施工仕様

## 【一般鉄部仕様（新設・改装）】

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
新設	※1.2 素地調整	●さびや粉化物は、サンドペーパーやディスクサンダーなどにより十分に除去してください。 ●被塗物のミルスケール、ほこり、油脂分、余分な水分などを除去し、清浄にしてください。						—
改装	※1.3 下地調整	●浮きなどを生じている劣化塗膜、脆弱な塗膜、さび、粉化物は、サンドペーパーやディスクサンダーなどにより十分に除去してください。 ●被塗物のほこり、油脂分、余分な水分などを除去し、清浄にしてください。						—
下塗り	※4.5.6 エスケースマートポーセイW <sup>(注2)</sup>	100	0.13~0.15	1	—	4以上 7日以内	—	ウールローラー 刷毛
	清 水	0~5	—					
上塗り	エスケースマートシリコンW	100	0.16~0.26	2	2以上	—	24以上	ウールローラー 刷毛
	清 水	0~5	—					

## 【内壁仕様（新設<sup>(注3)</sup>・改装）】

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 <sup>※31</sup> (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
新設	素地調整	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。						—
改装	※7.8 下地調整	●旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。 ●旧塗膜に脆弱層がある場合は、これを除去後、補修調整してください。						—
下塗り	※9 水性ミラクシーラーエコ(ホワイト)	既調合	新設 0.10~0.13 改装 0.10~0.30	1	—	2以上	—	ウールローラー 刷毛
				1~2	2以上			
上塗り	※10.11 (パテかい研磨) ※新設仕様の場合	●仕上げ用パテを使用し、凹部を中心にへらでパテかいてください。 ●P220~240のサンドペーパーでパテかい部を中心に均一に研磨してください。						—
	エスケースマートシリコンW	100	0.20~0.26	2	2以上	—	24以上	ウールローラー 刷毛
清 水	0~5	—						

(注1) 取りきれないさびには、★サビフィックス(18kg セット、4.5kg セット)をご使用ください。

(注2) 工程間隔時間が7日を超えた場合は目荒しを行ってください。

(注3) 水性ミラクシーラーエコ(ホワイト)との組み合わせにおいて、防火認定を取得しています。

\*この他木部の改修としてもご使用いただけます。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

## 施工上の注意点

- 素地調整、下地調整は、さび止め塗装工事の耐久性を高める重要な工程となりますので、入念な処理を行ってください。
- 金属素地へ直接施工した場合に、ピンホールや塗り残しが存在すると点さびが発生しますので、ピンホールや塗り残しがないようご注意ください。
- 旧塗膜がOP(合成樹脂調合ペイント)、FE(フタル酸樹脂エナメル)などの塗膜の場合、目荒しを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となります。
- エスケースマートポーセイWの乾燥膜厚は35 $\mu$ mです。(乾燥膜厚は、標準的な塗装条件や下地を想定したときの目安を示したものです。膜厚は、塗装条件や器具、塗装部位の形状、下地の状態等によって異なりますので、ご了承ください。)
- この他下塗材として、弱溶剤タイプの★SKマイルドポーセイ(16kg セット)、★エスケエボサビ $\alpha$ (16kg 石油缶)、★マイルドサビガード(16kg 石油缶)、強溶剤タイプの★ミラクシーラーM(18kg セット)もご使用いただけます。
- 雨掛りのない内部等には、下塗材として、水性タイプの水性エボサビアンダー(16kg 石油缶)もご使用いただけます。さらに、旧塗膜が活膜の場合、十分に目荒しを行うことで、エスケースマートシリコンWを直接塗装することができます。
- やに・あくが付着している場合は、中性洗剤など(やに・あくが著しい場合は、アルカリ性洗剤など)で拭き取った後、予めSK水性ヤニ止めシーラー(15kg 石油缶)を塗付してください。
- かびが付着している場合は、「SKK カビ除去剤 #5(塩素系)(18kg ポリ容器、5kg ポリ容器)」にて拭き取ってください。
- 水性ミラクシーラーエコ、SK水性ヤニ止めシーラーは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けるとともに、同じ洗剤の水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
- 仕上げ用パテが防かび剤を含有する場合、塗膜に支障をきたす可能性がありますので、試験塗りをし、十分に確認した上で本施工に入ってください。
- パテかい部が他の面と比べ吸い込み差を生じる恐れがある場合は、パテかい部を中心に下塗材を塗付してください。
- 上塗材の希釈率は試験塗りににより決定し、それ以降は同一の希釈率で使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
- 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
- 艶調整品(艶有り以外の半艶、3分艶など)は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所等で艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用を使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装を行ってください。
- 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり肌を確認した上で希釈率等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、ローラー塗りや仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- スチールドアの枠などシリリング材との接触が起こる部分への施工は避けてください。また、可塑剤が多く含まれる塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、ゴムパッキン、塩ビクロス等への施工は避けてください。
- 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗面に付着すると、変色や溶解などの異状が生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤形塗料での塗装を推奨いたします。
- 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下での施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、室温を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- ※31.「所要量」は塗装条件等により異なりますが、被塗面に付着させる塗料の「標準塗付量」は、水性ミラクシーラーエコホワイトで0.08~0.10kg/m<sup>2</sup>(新設の場合)、エスケースマートシリコンWで0.18~0.23kg/m<sup>2</sup>となります。各材料の使用量等を算出する際は、「所要量」を基準としてください。
- ※32. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
- ※33. 防火認定仕様につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。なお、防火認定仕様は塗付量が基準となります。「塗付量」は、「実際に塗着している塗料の重量」のことであり、「所要量」とは意味合いが異なりますのでご注意ください。

## 【危険情報と安全対策】

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。  
特に、★印のついている製品は、溶剤形の製品であるため下記の点にご確認ください。

- 引火性の液体であるため、火気厳禁です。
- 有機溶剤のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
- 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分に注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

## 【施工後の注意】

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。



本社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎ 072-621-7733

札幌支店 011-784-4000 東京支店 03-3204-6601 埼玉支店 048-686-2391 名古屋支店 052-561-7712 大阪支店 072-621-7721 広島支店 082-943-5043 福岡支店 092-629-3427 仙台支店 022-259-2431 千葉支店 043-304-0411 横浜支店 045-820-2400 京都支店 075-646-3967 神戸支店 078-671-0451 高松支店 087-865-5411

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載、複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

【製作年月:2021年11月】(211110.Y-1)

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>

